

社会人のための



Café de Plaza

まなびCafe

社会人学生の経験者やその支援者、生涯学習の実践者の方々と「学び」「生きがい」について一緒におしゃべりしてみませんか。

「何か新しいことを学んでみたい」、「資格や免許を取得したい」、「自己啓発はどうすれば？」などなど、そんな思いをアットホームな雰囲気の中で話してみませんか？

話しているうちにいつの間にか「自分」が見えてくる・・・そんなサロンのような相談会です。前半は講師のお話、後半はコーヒーなどを飲みながら、みんなで相談とおしゃべりを楽しみましょう！

参加費
無料

平成28年3月12日(土) 14時~16時

《14時~15時》講演会

「夕暮れの際は、一番良い時だよ。」

生涯学習実践者

広島国際大学医療福祉科学研究所在籍

滝沢由紀子さん

講演会の詳細、講師のプロフィールについてはチラシの裏面をご覧ください

《15時~16時》

☆カフェタイム：講師・参加者同士の交流会
生涯学習についての相談会



■会場：合人社ウェンディひと・まちプラザ北棟5階 研修室C
(まちづくり市民交流プラザ)

■相談員：社会人学生ネットワークきらめき 東 由水枝さん

■申込み：不要です。当日直接会場にお越しください。

■対象：どなたでもご参加いただけます。

■問合せ：合人社ウェンディひと・まちプラザ (まちづくり市民交流プラザ)
広島市中区袋町6番36号

TEL 082-545-3911 FAX 082-545-3838

メール m-plaza@cf.city.hiroshima.jp



◆講演概要◆

「夕暮れの際は、一番良い時だよ。」

私の息子は、48歳になります。重度知的障害を伴う自閉症です。

23歳のとき、小さな農園を開き、26年間親子で働いてきました。なすすべがないと思われていた息子は、つぎつぎに新しい力を発揮して、大きな自然の中で豊かに暮らしています。息子の姿を私は無我夢中で記録し、3冊の私家本を出版しました。

これを単に手記ではなく、療育の研究としてまとめられないだろうか。

私は、自分の人生が夕暮れ時にあることを十分に意識しながら、広島国際大学医療福祉大学院に入学させていただきました。先生方、家族、友人、隣人達の援助によって、新しい道を開いております。

夕暮れの際は、すばらしい時！このすべての出来事に「社会人学生ネットワークきらめき」東由水枝さんのご支援を頂きました。感謝して発表いたします。

講師紹介：滝沢由紀子 広島国際大学 医療福祉科学研究所在籍

1961年 広島女子短期大学家政科食物学専攻卒業

2011年 70歳：放送大学教養学部入学 60単位修得
73歳で卒業

2015年 74歳で広島国際大学大学院に進学

修士論文のテーマ

黎明期における知的障害者施設の歴史的考察と今後のあり方に関する研究（仮題）
～当事者家族の手記の分析を通して～

研究の目的

日本の知的障害者福祉史、特に黎明期を中心に辿り、知的障害者福祉の先駆者の思想と実践、そして、深い人間愛にいたる思想の醸成の過程とそこに通底するものはなにかを、当事者家族の手記を基礎として、今後の知的障害者福祉の在り方について、考察を行う。

◆主催◆

公益財団法人広島市文化財団

まちづくり市民交流プラザ

〒730-0036

広島市中区袋町 6-36

電話：082-545-3911 FAX：082-545-3838

メール：m-plaza@cf.city.hiroshima.jp

